

## コーディネーターとしての事業に対する意見シート

- 事業名:「市民憩いの森づくり協働塾」の運営
- コーディネーター氏名・所属:奥島要人・行政書士
- ふりかえり会議開催年月日:平成17年 3月24日

### 1. 協働のプロセスについて意見

名張市にある生活保全林の管理について里山の管理に関心のあった林業に関係する団体が一緒となり、今回の三重県の協働塾の公募がきっかけとなり実現した協働事業とのことで、その協働の目的についても十分認識されていてその過程においてもとくに問題とするところはなかったかと思われま

### 2. 成果についての意見

NPOの側から、今回行政とNPOと一緒に事業を行ってみて、「行政の仕組みがよくわかった。」「行政の方とつきあいやすくなった。」「行政の組織が縦割りで、うまく連携できない部分を、民間の力がかわってやることができた。」というような意見がでていた。何でもないことでも、やってみて初めてわかることもあり、とても貴重な経験をされたのではないかと思います。このような経験の中から、まさに協働事業という共通の認識が生まれ得るものなのだと感じました。そういう意味でもこの事業は十分な成果があったものと思われま

### 3. 課題・改善の整理とまとめ

先に開催された報告会の記録の中に「民間の方は活動日が土日になるのですが、行政職員の方は休みにでいただくことになり迷惑ではないかと思う面はありました。」という意見がありました。このあたり、当事者同士のコミュニケーションの不足なのかなとも感じつつ、NPO側にそのような心配をさせてしまう行政側の制度的な問題があるような感じもしたのでそのあたりは改善が望まれる。

### 4. 事業全体についての意見・感想(自由に記入してください)

市民に身近な森林の維持管理というテーマは協働事業にとってもマッチするように感じたので今後も協働事業として続けていただけたらと思われま

## コーディネーターとしての事業に対する意見シート

■事業名:市民憩いの森づくり協働塾

■コーディネーター氏名・所属: 畑中 英樹(さかなの目たんけん隊)

■ふりかえり会議開催年月日:平成 17 年 3 月 24 日

### 1. 協働のプロセスについての意見

5 回の協働塾を開催したことで、今後進める上での課題や役割を抽出する作業がほぼできたと思います。また、協働塾のホームページでも、その内容を全て情報公開している点は評価できます。「市民、NPO、行政が企画段階から同じテーブルで議論して、政策を策定していく」という協働塾の趣旨は大切に実行されていたと思います。ただ、林業関係者は市民発の投げ掛けをしたものの、名張市の縦割りや予算、参加の位置付け等で戸惑いを感じていました。県民局も名張市との関係もあり、見守る形にならざるを得なかったと推測できましたが、何度も話し合いと現場視察をしたことにより、事業の目的への共有化は達成できたのではないのでしょうか。

### 2. 成果についての意見

市民が行政の管理する公園の維持管理に参加できる仕組みづくりへの第一歩である、様々な人たちのネットワーク化が構築できたとの両者の一致した意見に賛同します。

また 5 回の協働塾を開催したことで、多くの課題や意見等を抽出することができましたが、どの内容も公園全般にわたっているため、どのような戦略を組み、どこから手をつけたいのか難しかったのではないのでしょうか。

伊賀協働塾を通じて、現地視察や公園の一部整備、市への提言など実施した結果、名張市の対応も一徐々に一良い方向に導くことができました。市民が主導して行政と一緒に、行政がメンテナンスをしていない散歩道の下刈りや不法投棄のゴミの撤去など、緊急性の高い課題に対処できたのは、今後において大いなる可能性を予感しました。それらの活動は「第一歩」として、評価できるものです。ただ、ふれあいの森は面積の広い公園ですから、長期ビジョンをもって取り組みを継続しないと、市民の想いが空回りになると思います。しかし、その継続性が最終的には公園を市民・利用者側に取り戻す事につながると思います。

### 3. 課題・改善の整理とまとめ

市と県との関係および名張市が管理する公園ということもありますが、伊賀県民局が黒子に徹して、名張市と市民の橋渡し役に努めている姿勢がよく伝わってきました。

ただ市民側には名張市側のスタンスが不明瞭な部分があるため、一部不満があるようです。名張市としても、スタンスを明確にして不満を解消する努力が必要だと思います。

また、伊賀県民局(伊賀市)においてこれまでの活動報告会をしたそうですが、ふれあいの森公園付近に住んでいる住民にも、この計画に多く参加してもらうために、名張市内で説明会など開催されてみてはいかがでしょうか。公園付近の住民の意見や参画を進めたら、更にプロジェクトの内容が充実すると思います。

#### 4. 事業全体についての意見・感想(自由に記入してください)

全国で自治体が管理する公園が、荒れているというケースが多いと聞きます。名張市は東山ふれあいの森公園に年2回程度の草刈りをしていますが、現状は市民が気軽に利用できる公園には程遠いそうです。しかも、公園内に産業廃棄物を不法投棄するケースが目立つなど、公園が荒れる事により犯罪を誘発しているのではないかと、市民が切実な危機感を持っておられました。ならばやる気のある市民やNPOが管理運営した方が、いい公園になるのではないのでしょうか。「どんな公園にしたいのか？」参加者から多種多様な意見が出されましたが、とにかくこのままではいけないという事でした。もう一度、理想の公園像をよく話し合った上で、適切な対処方法を選択できたら、前述の全国で荒れる公園問題に関するモデルケースが、「伊賀発」で生まれると思います。